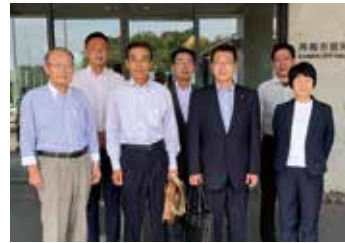


議会運営委員会は、7月21日に和歌山県海南市で研修を行いました。今回は、議会における「タブレット端末の活用」と、海南 nobinos (ノビノス) という市民交流施設の視察を行いました。タブレット端末の活用につきましては、導入に至った経緯や、その効果について説明を受けました。タブレット端末導入の効果として、ペーパーレス化によるコストの削減や、会議資料の事前配布による会議の質の向上につながっているとのことでした。しかしながら、複数の資料の見比べや書き込みが難しいという声もあり、また、タブレットのレンタル費用や通信費、文書共有会議システムを利用する経費が新たに必要になるとのことでした。

次に訪れた海南 nobinos は、図書館機能・市民活動生涯学習活動支援機能・子育て支援機能・カフェ・広場などを有する市民交流施設で、鉄骨鉄筋コンクリート造の4階建ての建物です。旧市庁舎跡地に建てられ、避難場所としての機能も持ち合わせています。1日に約1,700人、年間約58万人の利用があります。図書館は、音を許容するたまり場的な気兼ねなく利用できるスペースとして今回の視察研修で得た成果を、今後の議会運営に生かしてまいります。



(和歌山県海南市庁舎にて)



(海南 nobinos 図書館)



編集後記

11月、暦の上では秋の終わりですが、冬の始まりといった印象の肌寒さを感じます。今年も残すところ2か月。あつという間に月日は流れてまいります。皆様いかがお過ごしでしょうか。

実りの秋。とりわけフルーツが美味しい季節です。本市は柿の生産量が日本一!!

どの産地にも負けない品質を誇ります。現在シーズン真っ只中。日本の柿の歴史は古く、縄文や弥生時代の遺跡からも柿の種が見つかっており、古い文献にもその名を見ることが出来ます。奈良時代には販売も行われていたそうです。

「柿の実が赤くなれば医者者が青くなる。」美味しいだけではなく健康効果も期待できる柿を食べて、皆様、お元気にお過ごしください。



議会広報編集委員会

- 委員長 齋藤 有紀
- 副委員長 藤富美恵子
- 委員 窪 佳秀
- 〃 谷 勝啓
- 〃 (議長) 山口 耕司
- 〃 (副議長) 養田 全康

厚生建設常任委員会は、8月4日に奈良市、天理市で視察研修を行いました。今回は、斎場の指定管理者制度導入について研修を行うため、奈良県内で斎場に対して同制度を導入している2市を訪問させていただきました。午前には奈良市を訪問。本年4月に供用開始した奈良市斎苑旅立ちの杜の指定管理について、施設整備を進めるにあたり、管理も含め民間のノウハウを効率的に活用する手法としてPFI導入の可能性調査を行い、奈良市が求めるサービスの水準等を規定して発注を行った。制度の導入によって、市が負う維持管理等のリスク分担が明確化され、また物販等の自主事業も行うなど柔軟な対応が取れるようになったとの説明を受けました。

午後には天理市を訪問。斎場である天理市聖苑について、平成18年に施設が稼働することを受け、それに合わせて指定管理者制度を導入することとなった。窓口・電話対応、施設管理等といった基本業務を一任する形となっており、市の業務上の負担を大きく減らしつつ、専門的な知識をもって担ってもらっているとの説明を受けました。また、市役所での研修後、現地視察も行いました。今回の視察研修で得た成果を、今後の施策の推進に生かしてまいります。



(天理市議会議場にて)

旧庁舎跡地利用検討特別委員会



- 谷 勝啓委員
- 平岡清司委員
- 大谷龍雄委員
- 藤富美恵子委員長
- 齋藤有紀副委員長
- 吉田雅範委員
- 養田全康委員